



The Friendship Force of Western Tokyo

No. 7
2007
January



シアトル、タコマクラブ受け入れ(10月26日～11月1日)
ウエルカムパーティで タコマクラブ Larse 会長夫妻とプレゼント交換の 柳川会長夫妻

2007年予定

総 会

1月27日(土) 11時30分
ホテル・ザ・エルシー 龍皇
問合せ先 高垣 042-796-6797

World Friendship Day

総会時に同時開催

世界大会 FF設立 30周年記念

アトランタ 3月1日(木)～3日(土)
問合せ先 柳川 042-795-0151

渡 航

アメリカ・ノースカロライナ・ラーレイクラブ
3月3日(土)～9日(金)
問合せ先 山本 042-725-6617

アジアパシフィックフェスティバル 愛知クラブ主催

名古屋 4月4日(水)～8日(日)

日本大会 山口クラブ主催

10月20日(土)
会議 宇部市文化会館
交流パーティ 国際ホテル宇部
10月21日(日)
観光 萩方面、下関市

受け入れ

オーストラリア・マレーブリッジクラブ 10月
問合せ先 石井 044-852-5231

関東ブロック会議 東京クラブ主催

11月(予定)

台中クラブ訪問(3月24日～28日) ここはハワイ?

工藤 澄子

空港で七色のレイを首にまわされて驚いた私達は、そのままウエルカムパーティへ直行。



前会長吳さんのお宅でレイを付けての
ウエルカムパーティ

毎日ウエルカムいっぱいのおかげで、台湾の人々が、世界で一番好きな国は日本とってくれたり、日本語が年配の方の中で通じたことや、日本の古いカラオケが今も歌われていること等、驚かされることばかりでした。帰国時には、持ちきれないほどのお土産にまたびっくり。とにかく驚きの5日間でした。

私の家族が昔、台中に住んでいたこともあり、日月潭に行ったときは、懐かしく感激しました。



日月潭

台湾と日本が人々の交流により友情を深め続けていければと願います。

その後ホストの一人の梁さんが11月に仕事で横浜にこられた時にはアンバサダーが、カラオケクラブに集合し旧交を温めました。フレンドシップの会員になってよかったとつくづく思いました。

(2)



日月潭で記念撮影

日本大会 山形クラブ主催(6月17日～18日) 第20回日本大会報告

会長 柳川 善一

2006年度の日本大会は6月17～18日に山形市で催され、高垣夫妻、今村、工藤会員と5名で参加。会津若松にある高垣さんの勤務用別邸に一泊してから車で山形に向かい、会場のウエルサンピア山形に入りました。二日目の「さくらんぼ狩り」が人気を呼んだのか131名の参加で午後1時からFFI理事の愛知和男衆議院議員の基調講演で全体会議がスタート。

FFIからブラウン会長とデビー・パウエルさんの挨拶と報告、3時半からは代表者会議と分科会が二つ、いずれも熱心な意見交換が繰り広げられました。



山形クラブ矢野会長あいさつ

分科会で議論が分かれたのは、担当のクラブの労力と費用負担が大きい日本大会を、今後二年に一回とするかどうか。賛成が17クラブ、従来通りやるべし7クラブという結果となりましたが、「毎年友情を深めるべき」という正論に押されて結論は来年に持ち越しになりました。



花笠音頭の法被姿のブラウン会長とデビーさん



待ちに待ったさくらんぼ狩り

2007年は山口クラブの主宰ですが、次々回は東京ブロックでまだやっていない西東京の順番です。代表者会議では辞退を申し出たものの、役員各位や石井 Field Rep.Coordinator と意見交換して、**我々小規模クラブが出来る範囲の規模**で引き受けることと成りました。山形のように観光も兼ねた地方での盛大な大会と違って、費用もかさむ東京ではあくまで会議を中心に据えた実務的な日本大会にすべきでしょう。

二年に一回となるかどうかは別にして一応 **2009年の春**を予定していますので、会員全員に少なくとも半年前から準備を分担していただくこととなります。どうぞよろしくご協力を今からお願いします。

サバ大学生受け入れ後記(9月20日～28日)

佐原泰子

ああ、私にもこんな初々しい頃があったなあ・・・！！

マレーシアの大学生受け入れの要望があったのは8月の半ばごろだったと思います。

町田市内の和光大学・経済経営学部助教授加藤先生から町田国際交流センターを通じてフレンドシップフォース西東京にホームステイ受け入れの依頼がありました。町田市内でのホームステイ受け入れでは草分けのフレンドシップフォースとしてはこの依頼をお受けしなくては……。

ということで、一週間 マレーシア国立サバ大学からの11名(11組)のうち2名(2組)をFF西東京クラブが受入れることとなり、3年生のブン・リンファンさんが我が家のゲストとなりました。サバ大学から日本の大学へ学生を短期留学させるプログラムは初めてということで、選抜された優秀な学生たちの1人がリンファンさんです。さすがに何事にも積極的で聡明な彼女は、

(3)

マレーシア語、中国語、英語、そして勉強中の日本語を話すことが出来ます。日本語は大学で2年間専攻しているそうで一生懸命に日本語で話しかけてくれましたが、とても2年間とは思えないくらい上手でしたし、夜になると勉強中の日本語の教科書を出してきて見せてくれたり、マレーシアの話をしてくれました。またお茶目で面倒見の良い彼女はグループの仲間と会うと彼女(彼)たちの通訳をしたりして皆に慕われていたようです。

私も毎晩、朗らかなリンファンさんとその日の出来事をおしゃべりしたり、マレーシアや日本のことを話合ったりするのがとても楽しく、リンファンさんが夕方帰ってくるのが待ち遠しい一週間でした。



学生達と佐原さん

この一週間、加藤先生は奥様と一緒に毎日スケジュールを組み、朝は学生たちを出迎え、そして夕方は彼らをホストに引き渡す姿を見て、そしてまた学生たちやホスト家庭に対する細かい心使い等を見てはっとさせられました。長年フレンドシップフォースでホームステイを引き受けてはいるものの慣れのせい、はたまた不精のせい、大雑把になりがちなことを反省しつつ、加藤先生ご夫妻の新鮮な雰囲気と情熱的な行動力に頭の下がる思いをして久しぶりにホストとしての自分を振り返ることが出来たように思います。

帰る日は鶴川駅前の和光大学の教室でお別れ会が開かれ、マレーシアの学生たちはみんな大粒の涙をこぼしながらホームステイの感想を述べたり、お礼を言ったりしてくれましたが、中には感極まって何も言えない学生もいました。そんな学生たちを見ていると自分が初めてホームステイをしたときの感激がよみがえって来て、そういえば私もホストファミリーと別れるときには胸が詰まって何も言えなかつたっけ……。恥ずかしくて帰りの飛行機の中で窓の外を見ながらハンカチで涙を拭いていたことも思い出したりして……。

今回は加藤先生ご夫妻のかけがえのないお世話ぶりが良い刺激となった受け入れでした。

**シアトル、タコマクラブ受け入れ
(10月26日～11月1日)
ED 今村 佐知子**

今年の受け入れは10月26日に始まりました。シアトル・タコマクラブからのアンバサダーは15名、6組のカップルと3人の女性です。なにしろ旅慣れた人達で一週間の関西広島観光に続き静岡にステイ、そして西東京へと計3週間の旅行。なのに荷物はスーツケース一個、3週間は丁度手頃な長さなのだそうです。

平均年齢70歳、アレルギーを持った人も多く心配していましたが、電車を乗り継いでの東京見学にも殆どの方が疲れも見せず旺盛な知識欲と好奇心を見せていました。



**ウエルカムパーティでタコマクラブ会員による
楽しいシアトル紹介スキット**

ハチ公を見て犬の種類が違うと言う元小学校教師、能と歌舞伎の違いを尋ねる元司書、国際交流の集いでは皆違うグループに入って交流を深めようとする姿は爽やかでFFの原点を見た思いでした。ラッシュアワーの実態を見れたのが一番の収穫だと喜ぶ声もあり、ホストも苦勞した甲斐があったようです。特別な事ではなく普段の日本人の生活を知りたい、そんな思いが伝わってくる交換でした。



カントリーバンド演奏とダンス



国際交流の集いで万華鏡作り

**関東ブロック会議(11月26日、つくし野センター)
事務局長 高垣幸子**

第7回関東ブロック会議が、11月26日(日)つくし野センターで開かれました。

東京クラブ4名、埼玉クラブ5名、西東京クラブ9名の出席者があり、終始なごやかに近況報告、情報交換などがなされました。

話題の中心は、やはり渡航、受け入れですが、年4回の渡航、受け入れを行っている東京クラブの活動をうらやましく思い、しかし地域が一都四県にまたがり、広すぎる苦勞も伺いました。

また、日本大会は2007年10月に山口クラブ主催で開かれますが、その次の順番は西東京クラブの予定なので、すでに開催経験のある、東京、埼玉の両クラブより、経験談や貴重なアドバイスをいただきました。

年に一回のブロック会議ですが、回を重ねるごとに親睦も連帯感も深まり有意義な集いとなっていることを実感いたしました。

2007年度会費納入のお願い

本会の活動は会員の皆様の温かいご支援によって運営されています。本年も更なる会の発展と活動のために、ご協力をいただかなければなりません。同封の「郵便振込用紙」により年会費 3,000 円の納入を2月末日までにお願いたします。(会則第6条)

編集発行: ザ・フレンドシップフォース・西東京

**事務局: 東京都町田市南つくし野4-11-7
椰川 善一**

tel: 042-795-0151

e-mail: w-tokyo@friendshipforce.jp